



まちの話題

TOPICS



夏 野菜カレー みんなで完食

安岐中・地産地消夏野菜カレーの日

県の地産地消キャンペーンの取り組みとして、地元産野菜を使用した学校給食が市内の小中学校に提供されました。市農産物の消費拡大と食育の推進を図ることが目的。三重野朝陽さん(1年)は「地産地消の夏野菜が使われていたのでとてもおいしかったです」と話してくれました。

7/19

国 東の未来を担う高校生が考える10年後

高校生が考える10年後の鶴川商店街発表会

「くにさき創生タイムトラベルPROJECT／官商学連携事業」の一環として、市・地元商売人に対して国東高校ITコースの生徒18人が『わたしたちが考える10年後の鶴川商店街』のテーマで発表を行いました。生徒からは、古民家を利用したカフェを開業したらどうか、若者が立ち寄りとなる場所になればなどの意見が出されました。

7/18



地 域社会の架け橋として愛される橋に

志成学園・「らんかん橋」橋名板レプリカ贈呈式

武蔵川にかかる「らんかん橋(旧成吉橋)」の架け替え工が進む中、志成学園で橋名板レプリカ贈呈式が行われました。志成学園の生徒4人に各自が書いた橋名板のレプリカが贈呈され、「らんかん橋」の橋名板を書いた今富りこさん(9年)は「地域社会の架け橋として愛される橋になってほしいです」と話していました。

7/11

くにさき七島蘭の日

七島イ・世界農業遺産PRイベント

「くにさき七島蘭の日」(7月10日)に合わせて、大分空港で市商工会女性部、くにさき七島蘭振興会、市、県による七島イ・世界農業遺産PRイベントが開催されました。イベント期間中(7月1日～10日)は工芸品の展示や商工会女性部による手作りの七島イ工芸品約400個を大分空港利用客に配布しました。

7/10



全 国の舞台でも全力疾走を貫く

飯塚レッドスターズ・全国大会出場報告

飯塚レッドスターズの関係者が市役所を訪れ、8月に徳島県で行われる「阿波おどりカップ全国学童軟式野球大会2024」への出場を報告しました。全国大会でも持ち前の全力疾走で優勝を目指します。主将の清水太陽さん(国東小6年)は「初めての全国大会なので、チーム全員で力を合わせて一生懸命頑張ります」と意気込みを語りました。

7/30

助 け合ってきれいな海岸に

みーんで行う海岸清掃

絶滅危惧種であるアカウミガメの産卵場所となっている黒津崎海岸などで清掃活動が行われました。活動は国東市手と手とまちづくりたいが企画し、国東高校生や地元企業など約500人が参加しました。国東市手と手とまちづくりたい副理事長の海原明子さんは「みんなで助け合ってごみを拾いましょう」とあいさつしました。

7/19



全 国優勝おめでとうございます

第37回全国ラージボール卓球大会優勝報告

坂東純子さん(安岐町西本)と市卓球連盟会長の上原隆生さんが市役所を訪れ、7月に福岡県で行われた、第37回全国ラージボール卓球大会での優勝を報告しました。坂東さんはシングルス(40歳以上の部)、混合ダブルス(合計80歳以上の部)の2種目に出場し優勝。「ラージボールの人口が少ないので、増えてくれたらうれしい」と話していました。

7/18

浮 かぶコツや救助方法を学ぶ

安岐小・着衣泳教室

安岐小学校で、服を着たまま泳ぐ着衣泳の授業が日本赤十字社県支部の企画で行われました。児童らは池などに落ちた際の対処や救助方法について学び、ペットボトルなど身近なものを抱えると体が浮きやすいことを学びました。矢野拓己さん(5年)は「思うように動けなくて、水の事故は怖いと思いました」と話してくれました。

7/18

